

【所属名：総務部企画定住課】

【会議名：第1回糸魚川市総合計画等審議会】

会 議 錄

作成日 令和7年11月18日

日	令和7年11月18日（火）	時間	19:00～20:30	場所	糸魚川市役所2階 201・202会議室
件名	<ul style="list-style-type: none">・市長あいさつ・委員、事務局紹介掲載・会長、副会長選出・諮問・審議事項 第4次糸魚川市総合計画策定について				
出席者	<p>【委員出席者 17人】 田原克朗、古市正信、下越幸二、梅田均、谷村康、富永範子、西連地志穂、 矢島好美、嶋田友宏、山本習子、星野貴博、高瀬吉洋、山岸修、久保田武、 小田島修平、福島里子、塚田ちひろ</p> <p>【委員欠席者 6人】 富田一雄、永江宏徳、龍見和弦、原直樹、猪又直登、高橋尚子</p> <p>【事務局出席者 5人】 嶋田総務部長 企画定住課（大西課長、卜部課長補佐、廣川係長、山崎主査）</p>				
	傍聴者定員	一 人	傍聴者数		1人

会議要旨

1 開会（19:00）

企画定住課卜部課長補佐により進行。

- ・事前配付資料、当日配付資料の確認。
- ・会議の傍聴の取扱いについて、原則公開とし、必要に応じて非公開とすることができるものとする。傍聴の取扱いについては、市議会の傍聴規則を準用する。
- ・会議録作成のため、会議内容の録音について了承願う。

2 市長あいさつ

・本日は、公私ともに大変ご多用のところ、第1回総合計画審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

まずもって、皆様には、日ごろから市政発展のため、様々なまちづくりの舞台でご活躍いただいておりますことに対し、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、この度は、総合計画審議会の委員をお願い申し上げましたところ、快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。

さて、現在の第3次総合計画は令和4年度からスタートし、5年ごとに計画を見直しそととしていることから、本日お集まりの皆様に、令和9年度から始まる第4次総合計画について、ご審議をお願いしたいものであります。

当市は、市町合併から20年という節目を迎えていました。米田前市長におかれでは、長年にわたり市政運営にご尽力いただきました。私としては、これから10年後の糸魚川のまち

づくりを目指して様々な施策に取り組んで参ります。人口減少、少子高齢化という時代の大きな流れの中にありますが、私は「人口が減っても幸せに暮らせるまち」をつくっていきたいと考えています。

そのための基本理念を「市民の声で新しい糸魚川をつくる」と掲げました。市民の皆さんと対話をしながら、どのような選択肢で、どのような優先順位で進めていくかを丁寧に議論してまいります。

また、私は「縮充」という考え方を大事にしたい。つまり、人口や財源、人的資源が限られる中で、残すべきものを選び取っていく。すべてを守ろうとして次世代に過重をかけるのではなく、残すべきコアをしっかり見定めていくという発想です。

そのための重点施策として、5つの分野を考えております。

第一に医療・福祉の充実です。糸魚川総合病院の存続や診療科の維持、地域包括ケアの強化、大学病院等との連携による医療体制の確保を進めます。

第二に教育の推進で、0歳から18歳までの子どもをしっかり支えるという視点で、地域のコミュニティを残しつつ小中学校のあり方や、高校再編等は県と協議しながら進めたいと考えています。また、保育園の民営化の進展や保護者負担の軽減等についても検討します。

第三に経済の活性化です。一次産業を含めた地場産業の強化、地場産品の流通やブランディング、大学や研究機関との連携の活用、若い世代の参入を促すための空き家の活用や居住支援など、雇用と経済循環を意識した施策を展開していきたいと考えています。

第四に地域の特色を生かすこと。糸魚川は宿場町としての歴史や豊かな自然、食文化などがあり、これらを活かして賑わいを創出し、商店街の再構築など回遊性のあるまちづくりを進めていきたいと考えております。

第五に災害対策と安全の確保です。自助・共助の強化、避難所や備品の整備、防災リーダーの育成、そして地域の安全を守るための害獣（熊）対策や防犯対策も重要です。

また、子育て支援複合施設のような、世代をつなぐ場の整備も念頭に置いています。

時期的な運びとしては、12月市議会を経て市民の皆さんに進捗を示していきたいと考えております。建物や施設だけでなく、人が活動する場、人と人とのつながりを重視した計画にしていきたい。市民が「私はこう協力できる」「仲間を連れてくる」といった形で主体的に関わっていただけるような場所にしたいと思っています。

審議会委員の皆様におかれましては、まちづくりに関する建設的なご議論をいただき、多くの先人が不断の努力により築いてくれた「ふるさと糸魚川」を愛し、より良いふるさととして子孫に引き継いでいくことができるよう、持続可能なまちづくりを進めるための指針である、総合計画の策定にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げる次第であります。

公私ともご多用のところ誠に恐縮ではありますが、どうかよろしくお願ひ申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

3 委員、事務局紹介

- 名簿順に自己紹介。その後、事務局職員の自己紹介。

4 会長、副会長選出

- 糸魚川市総合計画等審議会条例に基づき、会長1名、副会長1名を委員の互選により選出する。選出方法に意見がなかったため、事務局からの提案により、会長には名簿14番の高瀬吉洋さん、副会長に名簿10番の嶋田友宏さんを推薦し、委員の賛同により決定。

(会長あいさつ)

このたびは会長という重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。

委員の皆様のご協力を得ながら、第4次糸魚川市総合計画を作り上げていくことが大切だと考えております。

私自身、これまで地域の活動や産業振興に関わってまいりましたが、今日はその経験を踏まえつつ、皆様とともに建設的な議論を進めていきたいと考えております。議論に当たっては、それぞれの立場やご専門の意見を尊重し、忌憚のないご意見をいただきたい。特に市民の声をどう反映させるかという点については、我々審議会の重要な役割であると認識しております。

また、本審議会がただの形式的な場に終わらないよう、実効性のある計画につなげていくことを念頭に置きたいと思います。関係機関との連携、市民参加の推進、そして実践につながる施策の提案をお願いしたい。私としても率直な議論を促し、進行のうえで必要な調整を行って参りますので、よろしくお願ひいたします。

5 諮問

- ・久保田市長から高瀬会長へ、第4次糸魚川市総合計画の案答申について諮問（諮問文を渡す）。

6 審議事項

- ・以降、糸魚川市総合計画等審議会条例第6条第1項の規定に従い、高瀬会長に議長をお願いし進行。

（1）第4次糸魚川市総合計画策定について

- ・久保田市長が掲げるまちづくりの基本理念について、久保田市長から、資料No.1に基づき説明。
- ・企画定住課山崎主査から、資料No.2・3に基づき説明。

【質疑・意見】

（委員）

前回計画でパブリックコメントはどれくらいありましたか。

（事務局）

件数はそれほど多くなかったと認識していますが、具体的数は持参しておりません。

（委員）

今後、外国人労働者の増加が予想され、住居や日常生活サポート等について住民の受け入れ準備が必要だと思います。事業者側の受け入れ努力もあるが、行政としての支援体制の整備も必要ではないですか。

（市長）

急激な増加は想定していないが、外国人労働者の方は徐々に定着している状況。行政でも受け入れ体制を整える必要があると考えております。

（委員）

第3次総合計画の成果等について報告の予定はありますか。

（事務局）

第2回審議会でKGI・KPIや市民アンケート結果等を報告したいと考えております。

（委員）

登用する外部アドバイザーはどの分野に強みのある方でしょうか

（事務局）

他自治体で総合計画・総合戦略策定に関わった経験のある方でマーケティングの分野に長けている方を1名登用しました。

主に根拠に基づく政策立案や（目標達成）指標設定などで助言を受ける予定です。

(委員)

市長との地区訪問懇談会の実施が大変ありがたかった。

今後も形式的な説明会だけでなく、地域ごとに本音が出る場を設置いただきたいという要望と、その際は日程や時間帯も配慮いただきたい。また、このように市長が直接地区を訪問する懇談会の実施の可否についてもお聞きしたい。

(市長)

今回の地区訪問懇談会は小学校区単位 13 会場で開催しました。これまで自治会・区長会等の場を活用して対話を重ねており、今後はそのような場を活用し、必要に応じて市民の方々と直接対話する場を設けていきたいと考えております。

(委員)

糸魚川東保育園の民営化に関する保護者説明会が開催されたが参加者が少なかった。広く保護者の声をどう拾うかの工夫が必要ではないでしょうか。

(事務局)

日時設定や多様な聞き取り方法を工夫する必要もあったのかと思いますが、保護者の方々もご多忙のところ民営化のお話については、時間をかけて丁寧に説明してきたことでご理解いただいている部分もあったのではないかと思っております。日頃、保護者の方々と一番身近に接する保育士との対話などによってご意見をお聞かせいただくなどの方法も検討してまいります。

(委員)

市民の意見だけでなく、市外在住の出身者・潜在的移住候補者（U ターン層等）の意見も取り込む必要があるのではないでしょうか。

(市長)

「セカンド市民構想」や「ふるさと住民登録制度」のような双方向の交流プラットフォームで意見を募ること、SNS やオンラインツールを活用して関係人口を増やすなどを考えています。

(事務局)

市外在住者向けアンケートについては、東京糸魚川会や関西糸魚川会の会員に実施したいと考えています。

(会長)

若年層や市外在住者を対象とした「チルナイトミーティング」を新潟市と東京で開催しており、少しずつだが参加者も増えている。こうした継続的な接点が大切だと考えている。

(会長)

ほかに質疑や意見が無いようであれば、この件について了承するかお諮りします。

第4次糸魚川市総合計画策定について了承することについてご異議ございませんか。

(委員)

異議なし。

(会長)

ご異議がないようなので第4次糸魚川市総合計画策定について了承する。

7 その他

- 企画定住課ト部課長補佐から次回以降の開催について、開催の時間帯について意見照会。特に意見が無いようであれば、開催の都度、高瀬会長と嶋田副会長と相談のうえ開催時間帯も含め検討し開催したいと考えている。

(会長)

特に意見は無いようなので、基本的に事務局案のとおり、会議開催の都度日程調整を行う

こととする。

ほかになければ会議を閉じさせていただく。

閉会のあいさつを嶋田副会長からお願ひする。

8 閉会あいさつ

(副会長)

長い時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

本日は、初回顔合わせでありましたが、このメンバーで来年末まで計画の審議を行います。

次回の審議会は1月下旬に開催の予定としていますが、今後ともこのような雰囲気で会を進めさせていただければと思うので、引き続きよろしくお願ひします。

以上